

中期経営計画 —LOGISTEED2024—

中期経営計画 概要

ロジスティードグループは、2022年度よりスタートした中期経営計画「LOGISTEED2024」の推進により、「グローバルサプライチェーンにおいて最も選ばれるソリューションプロバイダ」をめざし、さまざまな「協創」を通じた課題の解決と「価値」の創出に取り組み、持続的な成長を実現していきます。

LOGISTEED2024

事業の盤石化と
グローバル展開

重点施策

1. 海外事業の強化・拡大
2. 新たな付加価値による事業領域の拡張
3. スマートロジスティックスの進化
4. ESG経営の基盤強化

ロジスティードグループは
広く未来をみつめ
人と自然を大切に
良質なサービスを通じて
豊かな社会づくりに貢献します

経営理念

経営ビジョン
(長期的にめざす姿)

グローバルサプライチェーンにおいて
最も選ばれるソリューションプロバイダ

中期経営計画
(LOGISTEED2024)

中期経営計画
(LOGISTEED2021)

DX・LT[®]・現場力で
グローバルな
サプライチェーン
戦略パートナーへ
※LT: Logistics
Technology

LOGISTEED2030

強固なパートナーシップで実現する「めざす姿」

ケイパビリティを補完するパートナーとの協創
「SCM全体最適化に向けた高付加価値ソリューション」
「DX推進による顧客利便性の向上と効率化」
「海外向けの一貫したバリューチェーンの強化」
「投資先行型案件への取り組み強化」
「戦略的M&Aの推進」
「プラットフォームとしての地位強化」

経営ビジョン
(長期的にめざす姿)

経営理念

そしてその先へ
**LOGISTEED
2030**

グローバル3PL
リーディング
カンパニーへ

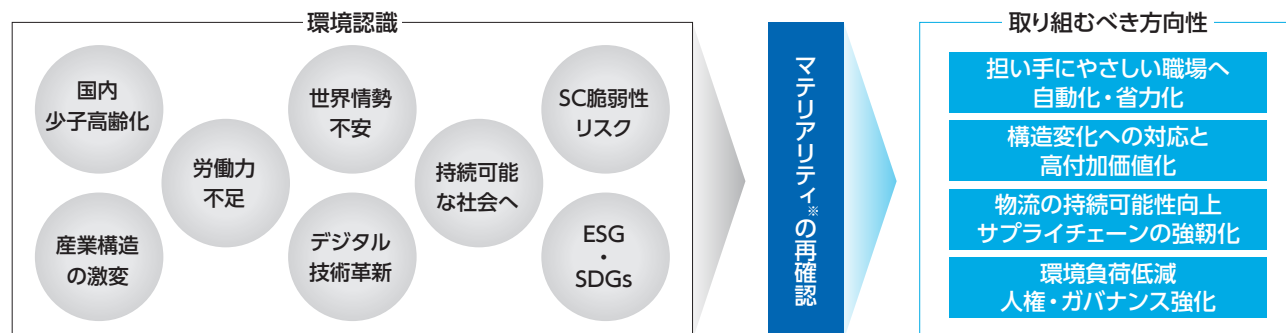
- 売上収益：1.5 兆円
- CO₂：50%削減
- 海外比率：50%以上

中期経営計画
(LOGISTEED2024)

中期経営計画
(LOGISTEED2021)

環境認識と取り組むべき方向性

外部環境の変化として、国内の少子高齢化や労働力不足、世界情勢不安、サプライチェーンの脆弱性リスクなどを認識しており、取り組むべき方向性を以下の通り定義しました。



※ マテリアリティについてはP30をご参照ください

重点施策

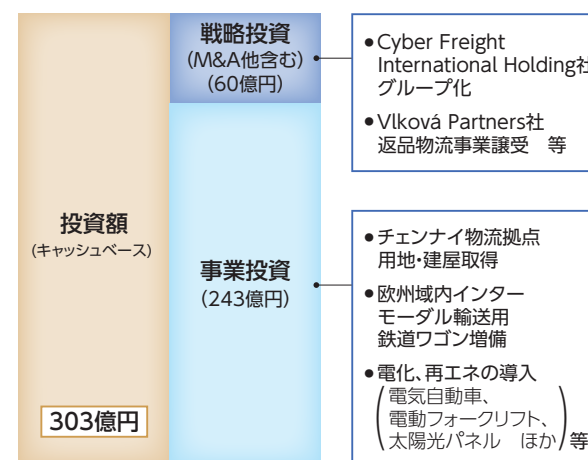
めざす姿を実現するために、またDX・LT・現場力で、お客様のグローバルなサプライチェーン戦略をサポートするパートナーとして、4つの重点施策を推進しています。

重点施策	重点施策概要	期待する効果	2022年度の進捗
1 海外事業の強化・拡大	● M&Aの全地域展開：北米（輸送）、欧州（3PL・フォワーディング）、インド（輸送） ● 重点エリアへの投資・事業拡大：インド・タイ・インドネシア・マレーシア（自動車、食料品、日用品ほか）、中国（自動化・省人化ほか）	トップライン拡大	● M&Aを活用した成長エリア・成長市場における事業の拡大 →P25、53 ● 国際物流売上比率：46%（前年度比+4ポイント） →P25
2 新たな付加価値による事業領域の拡張	● サプライチェーンの課題解決、DXによる可視化と最適化の提案 ● 製造と物流の境界領域における新サービスの拡大、VASの展開	トップライン拡大	● SCDOSの機能拡充 →P26、69、71 ● GDP(→P75)対応やレコビス・SSCV・SCDOS等の高付加価値サービスの提供拡大 →P26、71
3 スマートロジスティックスの進化	● システムと機械が連動した自動化・省力化、DXによる労働環境の向上 ● 三温度帯倉庫や危険物倉庫などの倉庫機能強化・充実化 ● SSCVの活用による輸送事業強靱化と2024年問題・脱炭素化への対応	ROIC向上	● 自動化・省力化、DX、標準化の促進による倉庫事業の強靱化 →P27、52、71、72 ● 輸送の大容量化等のフィジカルとシステム開発等のデジタル両面からの輸送事業の強靱化 →P27、52、71
4 ESG経営の基盤強化	● 災害対策・リスクマネジメントの遂行 ● 高度かつ持続的な安全・品質活動 ● 脱炭素活動の加速 ● VC活動の継続・拡大 ● DX・LT・グローバル展開のための人材強化	経営基盤盤石化	● 安全品質集中管理センターの設置等による高度かつ持続的な安全・品質活動の推進 →P41～46、74 ● グローバル3PLリーディングカンパニーへの成長に向けたDX・LT・グローバル展開のための人材強化 →P28、48

投資計画

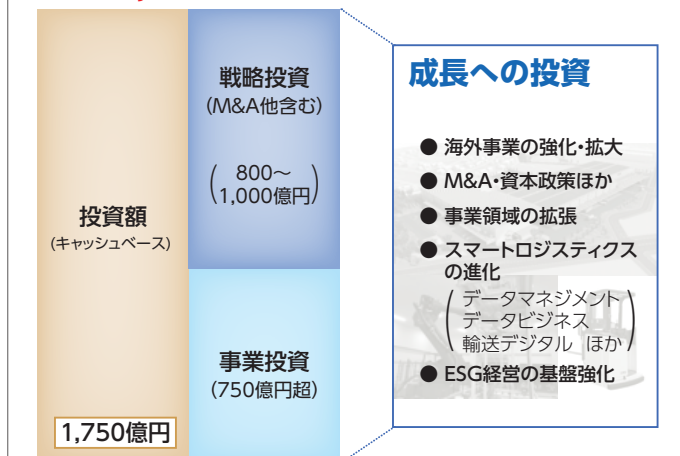
ロジスティードグループは、経済価値のみならず社会価値・環境価値を創り上げるため、営業キャッシュ・フローならびに現金及び現金同等物等を資金の主な源泉として、拠点拡充等の事業投資や中長期的にめざす姿の実現に向けた戦略投資を行っています。

2022年度実績



LOGISTEED2024(累計)

1,750億円



中期経営計画 ―LOGISTEED2024―

重点施策 1. 海外事業の強化・拡大

重点施策概要

- M&Aの全地域展開：
北米(輸送)、欧州(3PL・フォワーディング)、インド(輸送)
- 重点エリアへの投資・事業拡大：
インド・タイ・インドネシア・マレーシア(自動車、食料品、日用品ほか)、中国(自動化・省人化ほか) → **P54**

重点施策の進捗

● M&Aを活用した成長エリア・市場における事業の拡大

ロジスティードグループは、高齢化社会の進展や感染症の流行により一段と重要性が増しているヘルスケア領域に貢献すべく、医薬品関連事業の拡大を推進しています。2022年度は、ヘルスケア領域に強みを持つオランダのフォワーディング会社Cyber Freight International Holding B.V.の子会社化^{※1}や、2021年の成田国際空港に続く関西国際空港や香港国際空港におけるCEIV Pharma^{※2}の取得など、医薬品温度管理輸送における高品質なサプライチェーン構築に向けた取り組みを進めています。

※1 オランダの国際フォワーディング会社 Cyber Freight International Holding B.V.の全株式を取得しました。詳細は、こちらの当社リリースをご参照ください。
<https://www.logisteed.com/jp/news/pdf/2022092902.pdf>
※2 CEIV Pharma (The Center of Excellence for Independent Validators in Pharmaceutical Logistics) :IATA が世界各国、各地域で異なる GDP (Good Distribution Practice:医薬品流通過程の品質を保証する物流基準)を包括的に網羅する、医薬品温度管理航空輸送の品質認証として策定したグローバルでの統一基準

Cyber Freight International Holding社 提供サービス



温度帯別保管エリア(+15～+25℃、2～8℃)

冷凍庫(-80℃対応)

医薬品クリーンルーム(通関検査)

また、拡大するEC需要の高まりに対応し、2022年度に欧州のアパレルECの返品物流事業(リバースロジスティクス)をVlková Partners s.r.o.より譲り受けました^{※3}。今後は当事業と3PL・フォワーディングとを融合した高付加価値サービスのさらなる展開を計画しています。

※3 当社グループのESA s.r.o.が、EC事業者向けに返品物流事業(リバースロジスティクス)を提供しているチェコの物流事業会社Vlková Partners s.r.o.から事業を譲り受けました。詳細は、こちらの当社リリースをご参照ください。
<https://www.logisteed.com/jp/news/20220527.html>

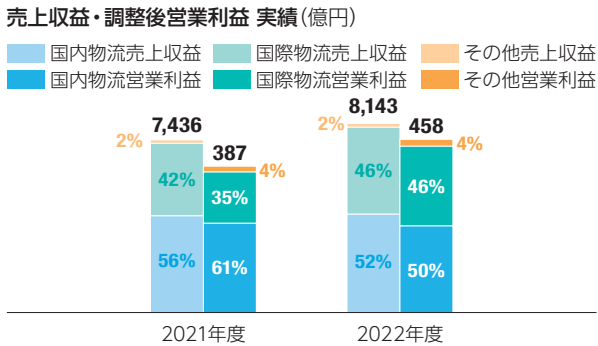


Vlková社 アパレル返品物流サービス

● 脱炭素社会の実現に向けた投資・事業拡大

トルコの当社グループ会社Mars Logistics Group Inc.が強みとしているインターモーダル(複合一貫輸送)輸送網のさらなる広域化や、米国のJ. P. Holding Company Inc.が北米で展開しているシェアードミルクランサービスのより一層の拡大など、環境負荷の低い輸送による脱炭素社会の実現に向けた取り組みも積極的に推進しています。

上記一連の取り組みも寄与し、2022年度の国際物流売上収益は前年度比120%の3,759億円、調整後営業利益は前年度比155%の211億円となり、国際物流売上比率、調整後営業利益比率ともに46%となりました。今後、2030年度の目標としている海外比率50%以上へ向け、重点エリアへの積極投資、特にコールドチェーン需要の拡大への対応などの推進により、海外事業のさらなる強化・拡大へ向け取り組んでいきます。



重点施策 2. 新たな付加価値による事業領域の拡張

重点施策概要

- サプライチェーンの課題解決、DXによる可視化と最適化の提案
- 製造と物流の境界領域における新サービスの拡大、VASの展開

重点施策の進捗

複雑化、高度化する現代のサプライチェーンにおいて、当社は、DXによる可視化と全体最適化を通じて、サプライチェーン戦略パートナーとして、お客様の事業価値の向上へ共に取り組んでいます。

● SCDOSの機能拡充

当社のサプライチェーン最適化サービスであるSCDOS^{※1}は、物流領域にとどまらず、お客様のサプライチェーン全体の設計やCO₂排出量可視化・分析などの高度化を支援するサービスを提供しています。

※1 SCDOSのサービスについてはこちらの紹介ページをご参照ください。
<https://www.logisteed.com/jp/scdos/>



2022年度 サービス提供実績	・衛生用品メーカー様 ・建設・運搬機械メーカー様	・小売業様 ・商社様	・スポーツアパレルメーカー様 ・製造小売業様 等
--------------------	-----------------------------	---------------	--------------------------------

お客様のサプライチェーンのさらなる強靱化や全体最適化、脱炭素化などの環境価値向上に貢献するため、当社では継続的なSCDOSの機能拡充を進めています。2022年度は新たにSCLINK+^{※2}をリリースし、業務効率化に活用いただいています。また、サプライチェーンCO₂可視化・分析サービスについては、(株)日立製作所との協創により、可視化・分析の対象をスコープ1・2・3^{※3}全てのCO₂排出量へと拡張しました。これにより、お客様のサプライチェーン全体の日常的なCO₂モニタリングのほか、シミュレーションを通じたCO₂排出量削減の中長期ロードマップ策定などの脱炭素戦略立案へも貢献します。

※2 貿易業務の情報共有やコミュニケーションを一元管理可能とするクラウド型プラットフォームサービス
※3 スコープ1：事業者自らの温室効果ガスの直接排出、スコープ2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出、スコープ3：事業者の活動に関連する他社の排出

● VASの拡大

当社は、社会変化や時代の要請を捉え、医薬品のGDP対応やレコビス・SSCV・SCDOS等の脱炭素社会・循環型社会の実現に向けた対応支援など、社会課題やお客様のニーズに即した高付加価値サービスの提供を通じて、お客様と共に成長することをめざしています。

2022年度 サービス提供実績	・化粧品メーカー様向け 法定ラベル貼付作業、セット組作業、ラベル印字/管理ほか ・自動車部品メーカー様向け 通函洗浄 ・製造小売業様向け ラベル貼替 等
--------------------	---



※4 撮影、採寸、原稿制作

中期経営計画 ―LOGISTEED2024―

重点施策 3. スマートロジスティクスの進化

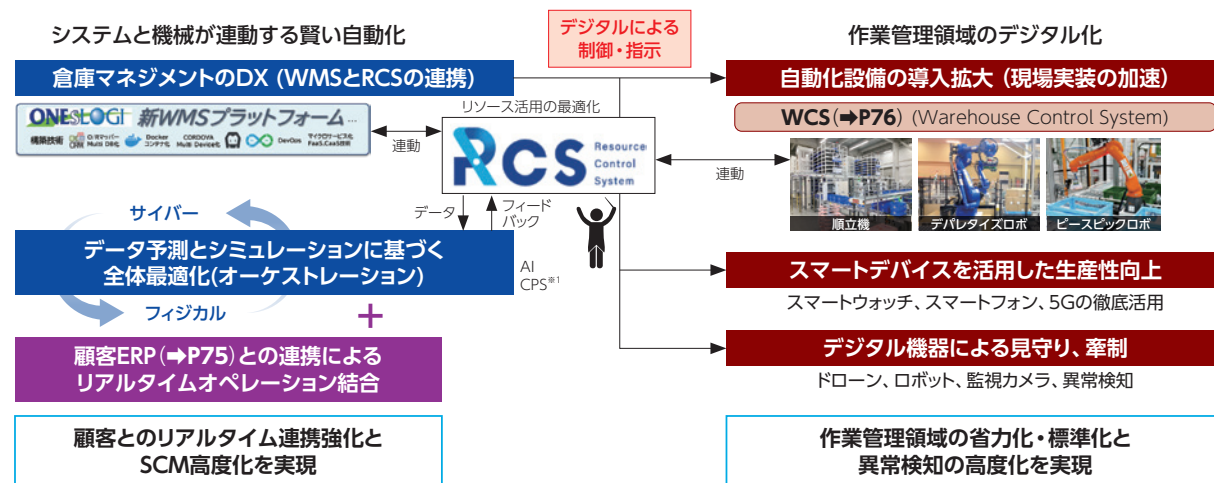
重点施策概要

- システムと機械が連動した自動化・省力化、DXによる労働環境の向上
- 三温度帯倉庫や危険物倉庫などの倉庫機能強化・充実化
- SSCVの活用による輸送事業強靱化と2024年問題・脱炭素化への対応

重点施策の進捗

● 倉庫事業の強靱化(自動化・省力化、DX)

ロジスティードグループでは、生産年齢人口が減少する環境下においても安定して事業運営を継続・拡大するため、自動化・省力化、およびDXによる労働環境の向上へ注力しています。継続的に物流センターへの自動化設備の導入・拡大を進めており、2022年7月および8月には東日本第二メディカル物流センター導入の自動ロボット仕分けシステムが、第28回日本MH大賞(優秀賞)および2022年度ロジスティクス大賞(準大賞)を受賞しました。また、当社の提供するDXソリューションの一環として、生産性の向上および見える化に用いるスマートデバイスや自動化設備、デジタル機器を統合制御する独自開発システムRCSの機能拡張も進めています。これら自社での自動化・省力化の推進に加え、官公庁等と連携し、自動化設備の導入を容易にする環境の構築に向けた標準化の取り組み等も推進しています。



※1 Cyber Physical System

● 輸送事業の強靱化(「2024年問題」対応、脱炭素化)

輸送事業に関しては、フィジカルとデジタルの両面からの取り組みを加速することで輸送の効率化を進め、「2024年問題」へ適切に対応するとともに、CO₂排出量の一層の削減に努めています。

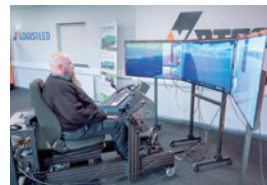
フィジカル面の取り組みとしては、ダブル連結トラック、スワップボディ^{※2}や中継輸送を活用したトラック輸送の大容量化と短距離化を進め、ターミナルの共同化による配車集約化、シェアリング等の取り組みを拡大するとともに、モーダルシフトや電気自動車の導入、活用等を促進しています。

デジタル面の取り組みとしては、量子コンピュータによる超高速配車シミュレーションを開発、導入し、従来のコンピュータでは困難であった荷物の寸法・重量や到着時間、車格制限等の特殊要件を考慮した最適な車両割り付けおよび配送ルートの迅速な計算を可能としました。

また、フィジカルとデジタルを融合した取り組みとして、当社グループ会社のVANTEC EUROPE LIMITED(英国)にて、脱炭素社会および自動運転による安全運行の実現をめざし、5Gを活用した遠隔監視による自動運転電気自動車プロジェクト(V-CAL)^{※3}を推進しています。

※2 車体と荷台を分離でき、分離中に荷役作業を実施することにより物流の生産性向上および働き方改革に貢献可能な車両

※3 V-CAL (Vehicle Connected Automated Logistics) プロジェクトはトレーラをけん引した電気自動車の無人自動走行を遠隔操縦者が監視して貨物輸送を行う実証実験で、NEAA(英国北東自動車連盟)が主催する産官学連携組織にて行われています。



遠隔操作コックピット



トレーラを牽引する電動トラック

重点施策 4. ESG経営の基盤強化

重点施策概要

- 災害対策・リスクマネジメントの遂行
- 高度かつ持続的な安全・品質活動
- 脱炭素活動の加速
- VC活動の継続・拡大
- DX・LT・グローバル展開のための人材強化

重点施策の進捗

● 高度かつ持続的な安全・品質活動

ロジスティードグループでは従来より安全・品質・生産性の向上に向けた取り組みを積極的に推進しており、その発展的な例として、物流拠点の運営状況を集中管理する「見える化システム」の構築を進めています。2022年度は、国内モデル事業所3拠点へ高度な機能を有するVMS(→P76) (Video Management System)を導入し、不安全行動や危険事象などの遠隔監視を可能とする可視化環境を構築しました。また、全導入拠点の状況を一元管理可能な安全品質集中管理センターを本社内に設置しました。今後はAI認識による映像からの不安全行動や危険事象の自動検知および検知事象のポータルシステム上での一元管理を推進するとともに、さらに多くの物流拠点の可視化環境構築を進めていきます。

● DX・LT・グローバル人材の育成・強化

ロジスティードグループでは、グローバル3PLリーディングカンパニーへの成長に向け、経営戦略および事業戦略と連動した人材戦略を策定、実行しています。人材育成・能力開発においては、人材データの蓄積・一元管理が可能な国内・海外グループ共通の「人材見える化プラットフォーム」の構築により人材・スキル見える化を進めるとともに、集合研修やオンデマンドの社内研修、社外講座等を充実させ、個々のスキルや課題に応じたプログラムを提供するなど、3PL現場人材、DX人材、LT人材、グローバル人材の育成に注力しています。

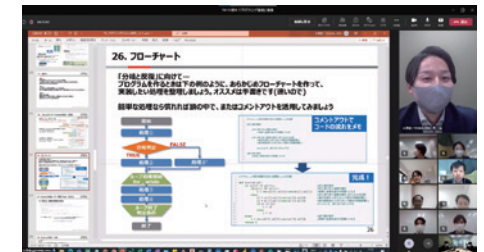
2022年度のDX人材育成の取り組みとしては、物流データサイエンティスト教育の有志社員26名への実施、(株)日立製作所とロジスティード(株)、ロジスティードソリューションズ(株)の営業職および技術職の若手従業員総計87名を対象とした「協創研修」の開催、米国マサチューセッツ工科大学 SCM MicroMasters受講のトライアル導入およびMaster of Applied Science in SCM課程への当社社員の派遣などの取り組みを行っています。

これらの取り組みやSCDOSおよびSSCVの実用化と外販による拡大などが評価され、経済産業省が東京証券取引所および(独)情報処理推進機構と共同で選定するデジタルトランスフォーメーション銘柄2022(DX銘柄2022)^{※1}に選定されました。

※1 企業価値の向上につながるDXを推進するための仕組みを社内に構築し、優れたデジタル活用を展開している企業を業種区分ごとに選定するもので、2022年度は33社を選定

● 脱炭素活動の加速

ロジスティードグループは、2030年度CO₂排出量の2013年度比50%削減を環境中長期目標に掲げ、脱炭素推進プロジェクトを組成して省エネ、創エネ、電化、再エネ調達等の取り組みを進めています。2022年度の実績としては、モーダルシフトの推進や太陽光パネルの設置、電気トラックや再エネの導入等の取り組みにより、前年度比0.7万t-CO₂削減と、2024年度目標(9.6万t-CO₂)達成に向け計画的に施策を実施しています。また、2013年度比では19.4%の削減を実現しており、引き続き2030年度の50%削減へ向け、着実に取り組みを進めていきます。→ P66



物流データサイエンティスト教育



協創研修 グループワーク



マサチューセッツ工科大学 SCM課程 発表会